

地域活性化に向けた耕作放棄地の利活用について

熊本県立天草拓心高等学校 生物生産科1年 近藤・鯖江・平石・松原

1 はじめに

私たちは、これまでインターネットや図書館での調べ学習、コンソーシアム会議などをおして耕作放棄地問題に興味を持ち、少しでも耕作放棄地を減らせたらいこの課題を設定した。

2 耕作放棄地とは

【定義】 以前耕地であったもので、過去1年以上作物を栽培せず、しかもこの数年の間に再び耕作する考えのない土地。耕作の意思はあるが、何らかの理由で耕作を行っていない(放棄してるわけではない)土地は、「休耕地」として分類。

H27 全国 423,000ha 熊本県 12,460ha 天草市 2,015ha

●耕作放棄地が増える要因

- ① 農業者の高齢化
 - ② 後継者不足
- ➡ 農業人口の減少

全国	H22	H30
農業就業人口(万人)	260.6	175.3
平均年齢(歳)	65.8	66.8

農水省HPより

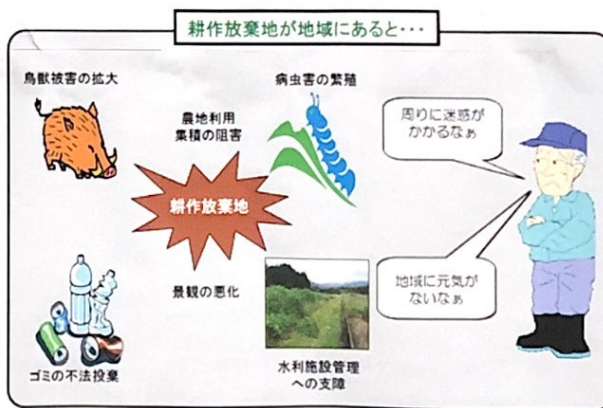
●このまま増え続けると

国内の農業生産が減少し、食料自給率の低下 → 輸入への依存

大問題

●その他にも

- ① 雑草や病害虫の増殖
→ 景観の悪化や周辺農地への悪影響
- ② 災害時の危険性が高まる
→ 洪水などの災害を防ぐ機能消失
- ③ ゴミの不法投棄
→ 景観の悪化や自然界への悪影響
農地再生に多大な労力
- ④ 野生動物の住みか
→ 周辺農地への被害拡大



農水省HPより

3 解決するために

- ① 国や各自治体の助成金を活用 → 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国)
農地バンク(農地中間管理機関)
- ② 小・中学生への農業体験等を支援し、農業への理解と食農教育を推進
- ③ 菜の花やヒマワリを植えて景観維持
- ④ オリーブの栽培
- ⑤ 牛の放牧

4 今後の課題

- ① 場所をどこにするか?
- ② 農地整備をどうするか?
- ③ 協力者をどうやって集めるか?

